

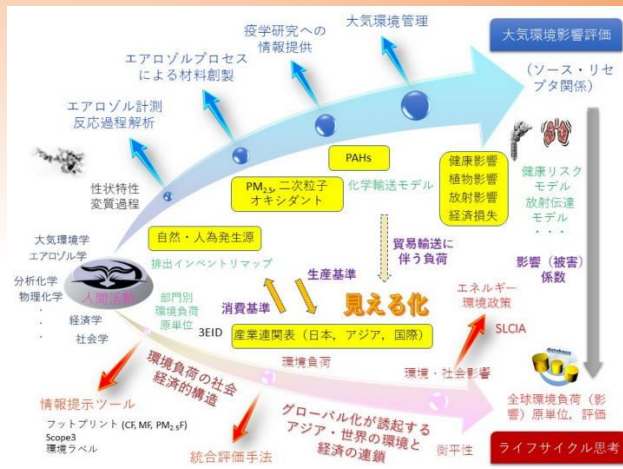
エネルギー環境学分野



エネルギー環境学分野とは？

エネルギー環境学分野では、化石燃料の燃焼をはじめ様々な人間活動に伴う環境への排出物質、特にエアロゾルと呼ばれる大気中に浮遊する微小な固体、液体粒子(PM2.5も含まれます)やその前駆体の環境動態と人の健康や気候変動などへのインパクトを分析・解明しています。

また、その自然科学的成果と社会・経済分析手法の融合を図りながら、社会全体の環境負荷・影響低減の視点から、ライフサイクル思考の観点に立って、政策、意思決定に資するための人間活動の環境影響評価の研究を行っています。



〈テーマ例〉

大気エアロゾルの性状特性と変質過程の解明

ライフサイクル思考に基づく人間活動の環境評価

大気環境負荷物質の動態解析と影響評価

- ・バイオマス燃焼エアロゾルの性状特性とリスク評価
- ・越境大気汚染物質の輸送中変質プロセスの解明
- ・東アジアにおける大気汚染物質の環境インパクトの推定と誘発構造の解明
- ・アジア、グローバル産業連関表を用いた温室効果ガスおよび大気汚染物質低減方策の評価
- ・有害大気汚染物質の測定および発生源測定法の検討
- ・大気化学輸送モデルによる高解像度での分布推定と大気質の定量化



～教職員～

東野 達 教授
 亀田貴之 准教授
 山本浩平 助教
 山下尚子 秘書

～在学生～

博士課程 1名
 修士2年 5名
 修士1年 5名
 学部4年 4名

研究室HPアドレス：<http://aerosol.energy.kyoto-u.ac.jp/>

興味を持った方は、是非一度ホームページをご覧ください！